



視覚について理解する 2017/10/16

古いメガネレンズに新しいメガネフレーム。そんなことが可能だったとは！

メガネフレームには飽きたけどレンズの度はまだぴったり。そんなとき、眼鏡店はどうやって新型モデルを探すあなたをサポートできるでしょうか。

ファッションの変化は速まる一方です。洋服や靴だけではなく、メガネフレームも同じです。スリムラインモデルがメガネ利用者の心をつかんだかと思えば、二年もすると今度は幅広いスタイルが流行したりします。その次のトレンドなどは知る由もありません。ですが、必ずしもメガネを新調する必要があるとも限りません。眼鏡店は場合により、最適な視覚を与える今ご使用のメガネレンズを、新しいフレームに入れることができます。

ファッションの変化はあまりに速く、時にはついて行くのが大変です。ある年は派手な色の服が流行の最先端であっても、その全く同じ服装が白い眼で見られるようになるまでさほど時間はかからないものです。流行に左右されるのはジーンズ、ドレス、ブラウス、シャツ、靴だけではなく、メガネフレームもまた、常に新しいトレンドにさらされるアクセサリのひとつです。再三メガネフレームに飽きてしまうのも、自然なことなのです。ですが、だからと言って新品のメガネが必要だとは限りません。ベルリン・シャルロッテンブルクにあるニーマント眼鏡店の検眼技師ハイケ・ルドルフ氏はいいます。「ある条件下では、古いメガネレンズを新しいメガネフレームに入れることが可能となる。」と。

この場合、セントリングデータと呼ばれる特性値が重要となります。現代のメガネレンズの性能を最適利用するには、正確な遠近感のポイントが決定されなければなりません。そのような精度を実現するため、最新のセントリングシステムや、革新的な [ZEISSのi.Profiler](#) システムなどの先端技術を導入する必要があります。

現代のメガネレンズには、ZEISSの単焦点レンズClarlet Individualや、累進レンズ [Gradal Individual EyeFit](#) などの、個別に測定・カスタマイズされたものがあります。

カスタムレンズの光学性能を最適利用するには、検眼技師は次のセントリングデータを測定します。瞳孔中心からフレーム中心までの距離（片眼PD）、フレーム下縁から瞳孔中心までの距離（フィッティングハイト）、ガラス背面から角膜頂点までの距離（角膜頂点間距離）、レンズ表面と視線に対する垂直線とがなす角度（前傾角）、レンズ表面と視線に対する水平線とがなす角度（そり角）。この多岐にわたるセントリングデータを見ただけでも、現代のメガネレンズの機能が、いかに繊細なものであるか、また、眼・メガネレンズ・適切なメガ

ネフレームの三者間の相互作用が、いかに重要かが分かります。このため、古いカスタムレンズを新しいフレームに入れられることは、ごく特殊なケースとなります。標準単焦点レンズの場合、瞳孔間距離が同じであることだけが条件となるので、古いメガネレンズを新しいフレームに入れる手法が成功する可能性が高くなります。標準単焦点レンズの場合は、通常その他のセントラリングデータは必要とされません。「もちろん、メガネレンズの強さも決定的な意味を持つ」と専門家ハイケ・ルドルフは言います。「メガネレンズの光学作用が強ければ強いほど、メガネの製作の許容範囲が狭くなる」。

＞ **累進レンズはさらに問題です。**「この場合、残念なことに許容範囲はさらに狭くなる。これは小さいレンズでありながら、正確な遠距離・近距離・中距離視覚を 与えなければならないことに起因する」とハイケ・ルドルフ氏は言います。このようなメガネレンズは、技術を結集した芸術作品でなければなりません。近視・遠視・老眼を同時に矯正しつつ、その中間の距離でも鮮明に見えなければならないのです。「この場合は、古いメガネレンズを新しいフレームに入れることができるケースはごく稀になる」とハイケ・ルドルフ氏は言います。

さらに、メガネレンズの状態も考慮する必要があります。深い傷があると、再調整時にレンズ表面がさらに歪んでしまいます。一方、新しいメガネレンズを古いメガネフレームに入れることは、一切問題ありません。自分に合ったメガネフレームで気に入ったものが見つかったら、どの眼鏡店でも新しいレンズを入れてくれます。材質が劣化していなければ、問題なくレンズを入れることができます。

ZEISSオンラインビジョンチェック コントラストや色彩はどの程度はっきりと見えていますか？ 視覚を素早く簡単にチェックできます。

視力チェックを今すぐスタート

視覚プロフィールチェック

ご自分の視覚習慣を確かめ、最適なレンズソリューションを見つけましょう。

視覚プロフィールを今すぐチェック!

お近くのZEISS取扱店を探す

住所

関連記事



視力障害を認識する
近視、遠視、乱視。どんな視力障害があり、どのように矯正できるのでしょうか。

視覚について理解する 2017/11/29
タグ：, 累進多焦点レンズ



メガネの歴史
「リーディングストーン」という起源からライフスタイルアクセサリーになるまで

視覚について理解する 2017/11/22
タグ：, 累進多焦点レンズ



シニアのためのより良い視力
40歳を過ぎると、普通メガネが必要になってきます。累進多焦点レンズは視力を20/20に回復します。

視覚について理解する 2017/10/31
タグ： 累進多焦点レンズ



メガネは何本くらい必要なものでしょう？
多くの選択肢に迷わないように！

視覚について理解する 2017/10/16
タグ：, 累進多焦点レンズ

関連製品



調光レンズ
あらゆる場面で使えるメガネ。

[詳細はこちらから](#)



サングラスカラー
あなたにとっての適切なカラーとは、どうやって決めるものなのでしょうか？

[詳細はこちらから](#)



サングラスレンズ
ひとつのレンズですべてのアウトドア活動に対応

[詳細はこちらから](#)



もっと見る

[視覚について理解する](#)
[健康と予防](#)
[ライフスタイルとファッション](#)
[運転とモビリティ](#)
[スポーツとレジャー](#)
[仕事](#)

最適なオプションを選ぶ

[遠用メガネおよび老眼用メガネ](#)
[遠近両用メガネ](#)
[サングラス](#)
[仕事用メガネ](#)
[スポーツメガネ](#)
[子供用メガネ](#)
[レンズコーティング](#)
[コンタクトレンズ](#)
[レンズクリーニング](#)
[眼鏡店に行く前に](#)

サービス

[視覚プロフィールチェック](#)
[オンラインビジョンチェック](#)

眼鏡店向け

[測定機器とテクノロジー](#)
[ZEISSメガネレンズ](#)
[ZEISSクリーニングソリューション](#)